

研究機関名：東北大学

受付番号：	2009-126
研究課題名	炎症性筋疾患における分子病態の解析
研究期間	西暦 2009年7月（倫理委員会承認後）～ 2014年6月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input checked="" type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 骨格筋） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（）
上記材料の採取期間	西暦 1990年4月～ 2009年6月
意義、目的	炎症性筋疾患は臨床的に進行性の四肢の筋力低下、病理学的には筋組織への免疫細胞を浸潤と筋細胞の変性、壊死を特徴とする原因不明の疾患群である。多発筋炎、皮膚筋炎、封入体筋炎、サルコイド筋炎をはじめとする肉芽腫性筋炎などが含まれる。いずれの疾患も比較的稀であり、病態解明や治療法の開発には困難が多い。現在ステロイドをはじめとする免疫全般を抑制する薬物治療が成されているが、年余にわたる服用を要し、日和見感染をはじめとする生命を脅かす多種の副作用を伴っている。本研究では、炎症性筋疾患の生検筋検体を用い、免疫分子、筋変性や再生に関わる分子を解析し、その他の筋疾患との比較検討を行い、病態の解明と標的を絞ったより有効で安全な治療法の開発を目的としている。
方法	疾患罹患筋組織を用い、免疫組織化学、PCR、in situ hybridization などの方法により免疫に関与する分子、筋細胞の変性、壊死・再生に関与する分子の解析を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学神経内科 022-717-7189